



**ホルン**  
取扱説明書

日本語

**French Horn**  
Owner's Manual

English

**Waldhorn**  
Benutzerhandbuch

Deutsch

**Cor**  
Mode d'emploi

Français

**Trompa**  
Manual de instrucciones

Español

**Trompa Francesa**  
Manual do Proprietário

Português

**圆号**  
使用说明书

简体中文

**Валторна**  
Руководство пользователя

Русский

**호른**  
사용설명서

한국어

**法國號**  
使用說明書

繁體中文

JA EN DE FR ES PT ZH-CN RU KO ZH-TW

このたびは、ヤマハ管楽器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。楽器を正しく組み立て性能をフルに発揮させるため、また永く良い状態で楽器をお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

**P.3**

You are now the owner of a high quality musical instrument. Thank you for choosing Yamaha. For instructions on the proper assembly of the instrument, and how to keep the instrument in optimum condition for as long as possible, we urge you to read this Owner's Manual thoroughly.

**P.3**

Sie sind nun der stolze Besitzer eines hochwertigen Musikinstruments. Vielen Dank, dass Sie sich für ein Instrument der Marke Yamaha entschieden haben. Um mit den Handgriffen zum Zusammenetzen und Zerlegen des Instruments vertraut zu werden und dieses über Jahre hinweg in optimalem Zustand halten zu können, raten wir Ihnen, diese Anleitung aufmerksam durchzulesen.

**P.3**

Vous êtes dès à présent le propriétaire d'un instrument de musique de haute qualité. Nous vous remercions d'avoir choisi Yamaha. En ce qui concerne les instructions relatives à un assemblage adéquat de l'instrument et sur la façon de garder l'instrument dans des conditions optimales aussi longtemps que possible, nous vous conseillons vivement de lire entièrement le présent Mode d'emploi.

**P.3**

Usted es ahora propietario de un instrumento musical de alta calidad. Le agradecemos su elección de un instrumento Yamaha. Le aconsejamos que lea todo este manual de instrucciones para ver las instrucciones para el montaje correcto del instrumento y para aprender a conservar el instrumento en óptimas condiciones durante tanto tiempo como sea posible.

**P.3**

Agora você é o proprietário de um instrumento musical de alta qualidade. Obrigado pela sua escolha de um instrumento Yamaha. Para instruções da montagem correta do instrumento, e de como conservar o instrumento em condições ideais pelo maior tempo possível, pedimos que você leia este Manual do Proprietário por completo.

**P.3**

现在您已经是高品质乐器的主人了！感谢您选择 Yamaha 乐器。有关如何正确地安装乐器以及使乐器尽可能长久地处于最佳状况的说明，请完整地阅读该使用说明书。

**P.3**

Вы стали обладателем высококачественного музыкального инструмента. Благодарим вас за выбор продукции Yamaha. Для получения инструкций по правильной сборке данного инструмента и его длительном хранении в оптимальных условиях мы настоятельно рекомендуем вам внимательно прочитать настоящее руководство.

**P.3**

야마하 악기를 구입해 주셔서 감사합니다. 악기의 알맞은 조립 방법 및 보관을 위해 본 사용설명서를 반드시 읽어주시기 바랍니다.

**P.3**

感謝您選擇 Yamaha 購買優質樂器。如需瞭解如何正確組裝樂器，以及如何讓樂器盡可能長時間保持最佳狀態，強烈建議您詳閱本使用說明書。

**P.3**

# ホルン

## 取扱説明書

### 安全上のご注意 ご使用の前に必ずお読みください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

#### ■ 記号表示について

⚠：「ご注意ください」という注意喚起を示します。

⊘：「～しないでください」という禁止行為を示します。

**⚠ 注意** この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定されます。

⊘ 楽器を投げたり、振り回したりしないでください。

マウスピースや部品が抜け、相手の身体に当たるなどして危険です。楽器はいつもやさしく扱ってください。

⚠ オイルやポリッシュ類を乳幼児が口にしないよう、十分ご注意ください。

乳幼児の手の届かない所に保管したり、楽器のお手入れは乳幼児のいない所で行うなど、オイルやポリッシュ類の管理にはご注意ください。

⊘ 小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

お様が誤って飲み込むおそれがあります。

#### ご注意

- 温度・湿度などの環境に注意してください。  
楽器をストーブなどの火気に近づけないでください。また、温度・湿度の異常な環境でのご使用や保管も避けてください。演奏に支障をきたすおそれがあります。
- ラッカー仕上げの製品のお手入れには、ベンジンやシンナーは使用しないでください。  
表面の仕上げを損なう場合があります。
- 変形にご注意ください。  
不安定な場所に置いた場合、落下や転倒により変形するおそれがあります。置き場所には十分注意してください。
- 改造しないでください。  
保証の対象外となるばかりでなく、修理ができなくなるおそれがあります。

メッキ仕上げの管楽器は、メッキの性質上、時間が経過すると表面が変色する場合がありますが、演奏には何ら支障はありません。なお、初期の変色部分はお手入れによって簡単にきれいになります。(変色の進行したものは、きれいにならない場合があります。)

※ お手入れ用品は、それぞれのメッキの種類に合った専用のもをお使いください。またポリッシュは表面を磨き取るものですので、メッキが薄くなる場合があります。あらかじめご了承ください。

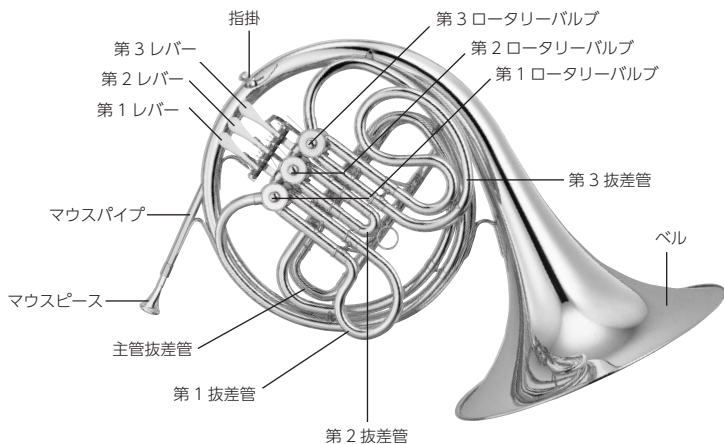
#### ■ 長くお使いいただくために

楽器を良いコンディションで長くお使いいただくために、以下の事項を心掛けてください。

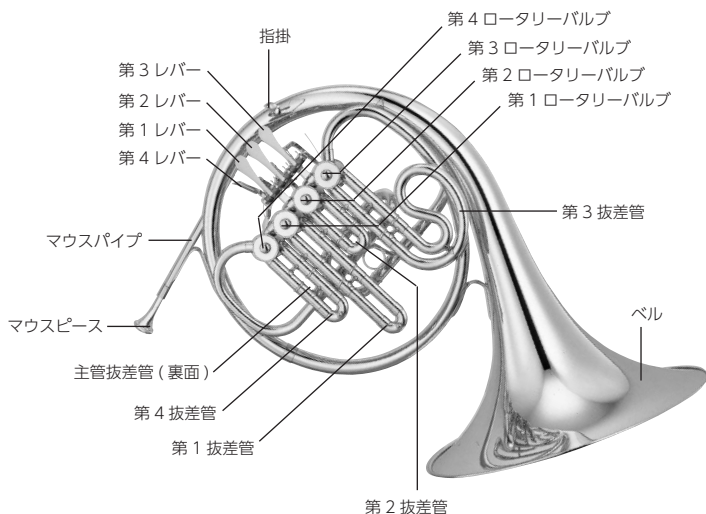
- ローターオイルやスライドグリスが切れないよう、演奏前に確認しましょう。
- 演奏後は抜き管から水分を拭きましょ。
- 定期的に楽器の点検・お手入れをしましょう。
- 保証書は大切に保管しておきましょう。

# 各部の名称

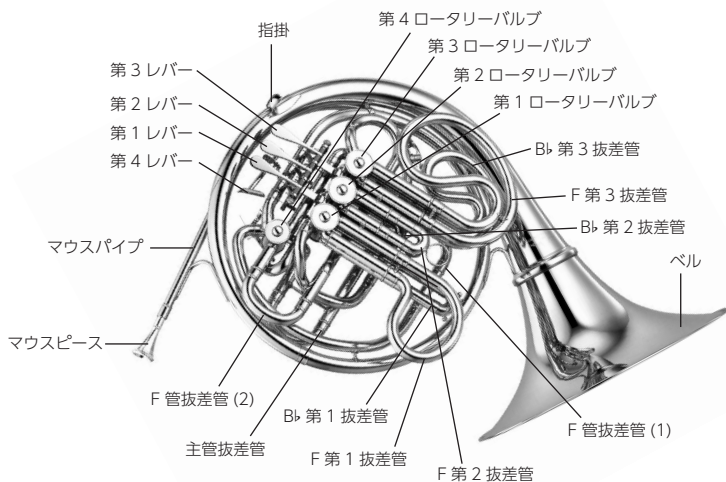
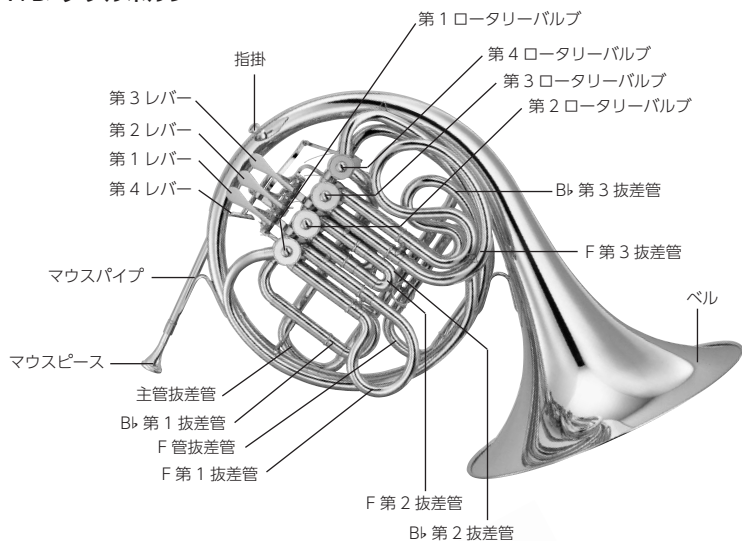
## ■ F シングルホルン



## ■ B $\flat$ シングルホルン



## ■ F/B $\flat$ ダブルホルン



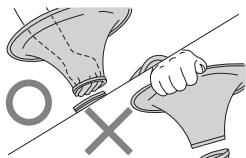
※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

## 楽器の取り扱いについて

金管楽器のボディの板厚はとて薄いので、取り扱いの際に無理な力を加えたり、ぶつけたりして変形させないように、十分注意してください。

### ■ デタッチャブルベルのセット

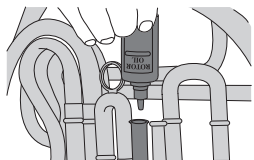
デタッチャブルベルのセットは、ベルの中央部分を持って組み立てます。あまり強く締め付けないようにしましょう。



### ■ オイルの注油

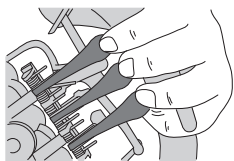
#### ロータリーへの注油

1. レバーを押しながら抜差管を抜いて、図のようにローターオイルをロータリーに注油します (1 箇所当たり 2 ~ 3 滴)。



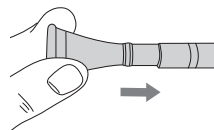
- \* レバーの動きが悪くなった時に、この注油を行ってください。
- \* 管体内側に付いているグリスがオイルと混ざらないように注油してください。

2. オイルが全体にゆきわたるように、レバーを動かします。



### ■ マウスピースのセット

マウスピースは軽く入れます。



- \* マウスピースは、絶対に強く押し込まないでください。抜けなくなるおそれがあります。

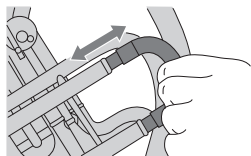
# チューニング (音合わせ)

演奏の際、必ず主管拔差管をスライドさせてピッチを合わせてください。チューニングは気温に影響されますので、演奏の前に息を吹き込んで楽器を暖めてからチューニングをしてください。主管拔差管を抜く長さは個人差がありますので、いちがいには言えません (気温 20℃ のとき主管拔差管を、約 15 mm くらい抜いて A=442 Hz です)。

なお、拔差管を抜く長さはいつでも同じではなく、たとえば、気温が高い場合は拔差管を長く抜きます。逆に気温が低い場合は短くなります。また、ベルの中に入れる右手の位置、角度でも音程は変化します。

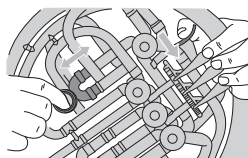
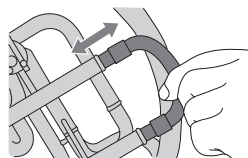
## シングルホルン

主管拔差管を抜いて、チューニングします。



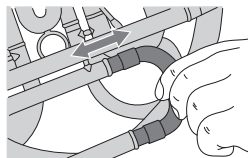
## ダブルホルン

1. 主管拔差管で、B $\flat$  管をチューニングします。



\* B $\flat$  管拔差管を持つ楽器は、主管拔差管と合わせて使用しましょう。

2. F 管拔差管で、F 管をチューニングします。

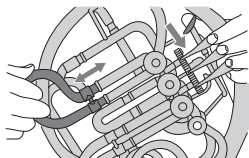


## 音のエチケット

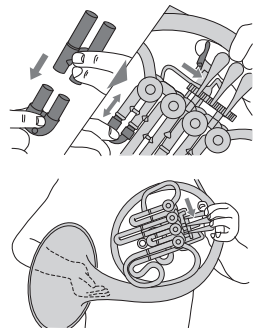
美しい演奏は人にさわやかな感じを与えますが、練習中の音は時には気になる人もいらっしゃるかもしれません。ご近所の迷惑にならないように気を配りましょう。

## チューニング (音合わせ)

3. 各拔差管をそれぞれ5～10 mm程抜きます。その際、拔差管が繋がっているレバーを押しながら抜いてください。



4. B♭ シングルホルンの第4 拔差管は、ストップ奏法\*を行う際に、通常通りの運指で演奏するための管です。また図のように途中の延長管を外してセットすることで、第4レバーを押した状態で半音低いA管として演奏することもできます。



### \* ストップ奏法とは

右手でベルをふさいだ状態にして、独特の金属的な音を出す奏法です。この奏法で演奏するとき、F シングルホルンやダブルホルン (F 管側) では半音高い音が出るため、楽譜に記載された音より半音低い運指で演奏します。B♭ シングルホルンでは 2/3～3/4 音高い音が出ますが、第4レバーを押しながら演奏することにより、通常通りの運指で演奏できます。



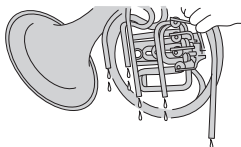
# 楽器のお手入れ

## ■ 演奏後のお手入れ

いつまでも美しい音を保つために、使用後はしっかりとお手入れをしましょう。楽器のお手入れは、机に置いてするか、手でしっかり持って落とさないように気を付けましょう。

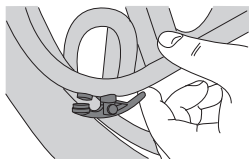
### ● 拔差管のお手入れ

1. 拔差管を抜いて水分を出しましょう。



\* レバーを押さずに拔差管を抜き差しすると、管内の気圧が下がり、動かしにくかったり管内を傷めるおそれがあります。

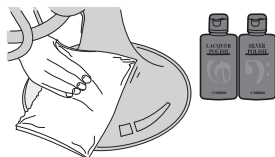
2. ウォーターキーを持つ楽器は、ウォーターキーからも水分を抜きましょう。



- \* 拔差管の材料は黄銅や洋白で耐食性に優れていますが、水分が長時間残ると、腐食が進行するおそれがありますのでご注意ください。
- \* クリーニングスワブを使うと管内の水分をより確実に除去できます。

### ● 楽器表面のお手入れ

楽器の表面はポリシングクロスで軽く拭きまです。汚れや変色が目立つ場合は、下記のお手入れ用品をお使いください。

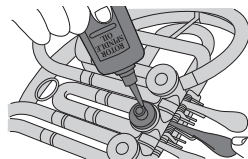


ラッカー仕上げには ...  
ラッカークロス+ラッカーポリッシュ  
銀メッキ仕上げには ...  
シルバークロス+シルバーポリッシュ

## ■ 週に1回のお手入れ

### ● ロータリーのお手入れ

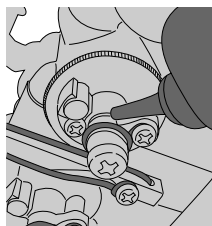
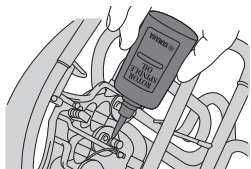
1. ロータリーバルブのキャップを外し、ロータリーの中央と軸を支えている所に、ロータースピンドルオイルを少量注します。



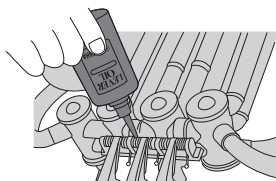
\* その後、余分なオイルは拭き取りましょう。オイルを付け終わったら、キャップを閉めてオイルがよくなじむようにレバーを動かしましょう。

# 楽器のお手入れ

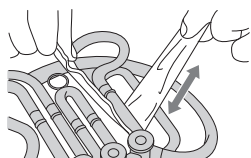
2. ロータリー回転軸と軸受けにも同様に、ロータースピンドルオイルを少量注します。



3. レバーの支持台の軸受け部には、レバーオイルを少量注してください。



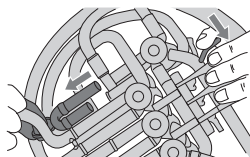
- \* オイルを付け過ぎた場合は、きれいに拭き取ってください。また、ガーゼで細かいところもお掃除しましょう。



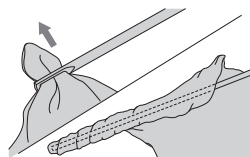
## ■ 月に1～2回のお手入れ

### ● 抜差管のお手入れ

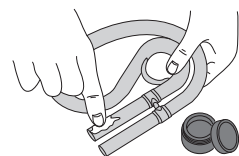
1. 抜差管を抜くときは、レバーを押しながら抜きましょう。



2. ガーゼをクリーニングロッドに金属部が露出しないように巻き付け、抜差管と外管の内側の汚れを取ります。



3. 抜差管の表面の汚れをガーゼで拭き取り、スライドグリスを少量塗ります。



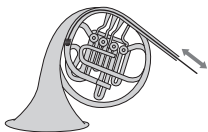
4. スライドグリスがなじむように、抜差管を何回か動かします。そのとき、はみ出てくる余分なグリスは拭き取りましょう。

## ■ 半年に 1 回のお手入れ

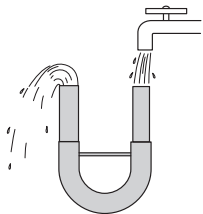
### ● 楽器を洗浄しましょう

1. ブラスソープ水溶液を作ります。  
ブラスソープ「1」に対して、30℃～40℃の温水を「10～15」用意します。楽器の部品をブラスソープ水溶液内へ入れるときは、あらかじめ抜差管を抜いておきます。

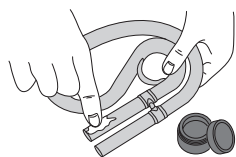
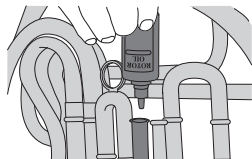
2. フレキシブルクリーナーのブラシにブラスソープ水溶液を含ませ、管内を洗います。



3. 汚れが落ちたら、きれいな水で汚れとブラスソープ水溶液を十分に洗い流してください。



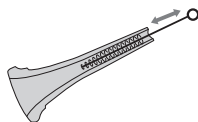
4. ガーゼで水分を完全に拭き取り、オイル、グリスを注してください。



### 管内を洗浄するときの注意

ロータリーは分解しないでください。また、管内に水を通すときは、主管抜差管から息の流れと逆方向に水を入れてください。マウスパイプから水を入れると、汚れがバルブにつまりバルブの動きが悪くなります。

5. マウスピースは、マウスピースブラシにブラスソープ水溶液を含ませて、スロートに通して洗い、きれいな水で汚れとブラスソープ水溶液を十分に洗い流してください。

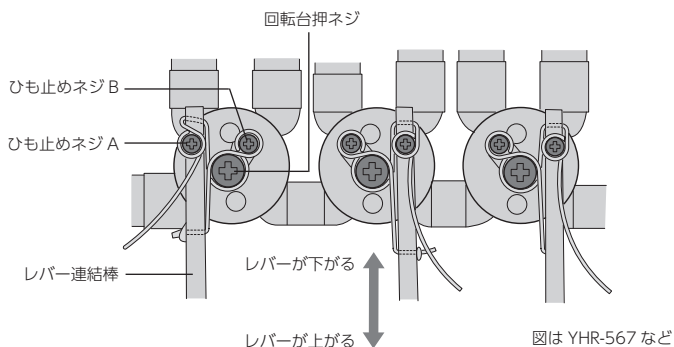


# ロータリーひも / レバーの調整

ロータリーひもの巻き付けおよび調整は、初心者には難しい作業です。管楽器技術者にご依頼ください。

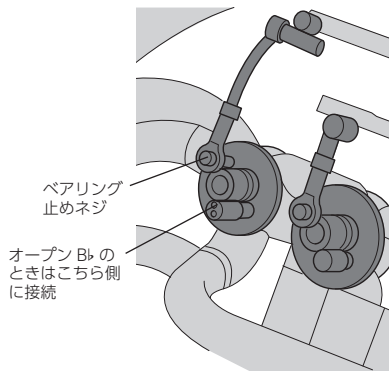
● 下の図のようにひもを巻き付け、ひも止めネジを締めます。

ネジの締まる方向に巻き付け、巻き終わったらひも止めネジ B で、レバーの高さを調節しましょう。

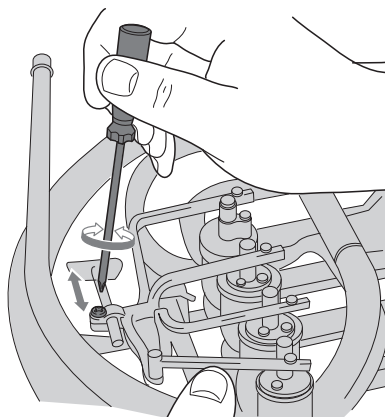


メカニカルアクションの YHR-567G(D)B などには、ベアリング止めネジの接続位置を変更することで、ストロークが2段階に調節可能です(図はオープン F の状態を表しています)。

\* ベアリング止めネジをロータリーの回転中心に近い側に接続するとストロークが短くなり、遠い側に接続するとストロークが長くなります。



調整機構が付いた第 4 レバーは、演奏者の手に合わせた位置の調節が可能です。図のようにドライバーで調節します。

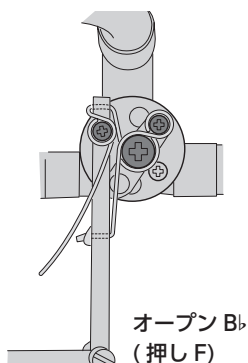
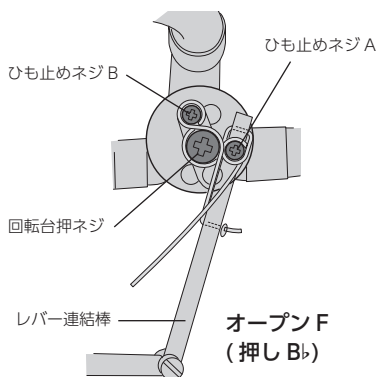


## ■ 第 4 レバーの切り替えかた

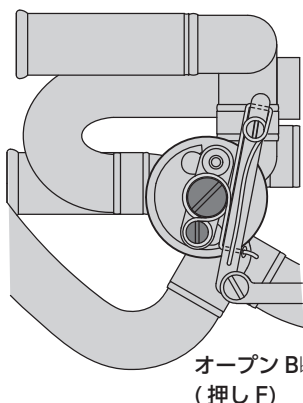
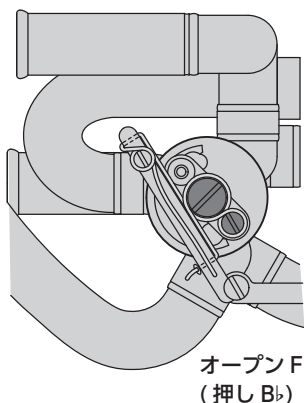
### ● F/B<sub>h</sub> ダブルホルン

ヤマハダブルホルンは、通常第 4 レバーを押さない状態で F 管（オープン F）、押した状態で B<sub>h</sub> 管になるようセットされていますが、図のようにセットすることで F 管と B<sub>h</sub> 管を逆（押さない状態で B<sub>h</sub> 管（オープン B<sub>h</sub>）、押した状態で F 管）にすることができます。

セットのしかたは、ひも止めネジ B とその下のヒモ座を外し、両方セットで移動させます。その後下図のようにヒモ座の上にひもを通します。



図は第 4 バルブが小指側にあるダブルホルン



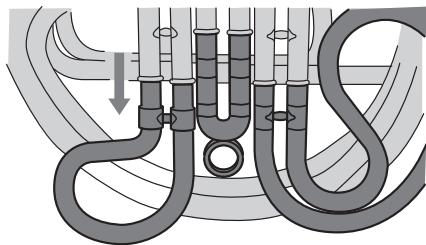
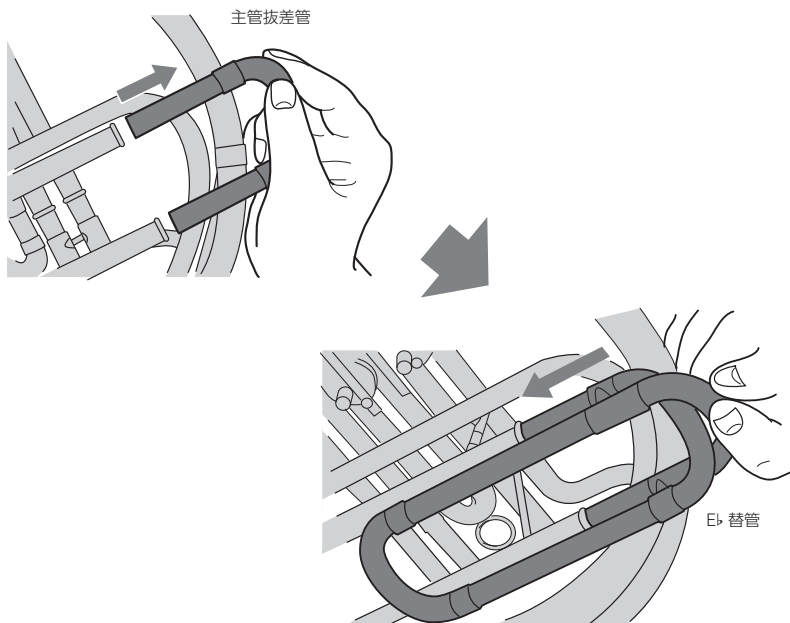
図は第 4 バルブが親指側にあるダブルホルン

# オプション

## ● E♭ 替管 (別売)

F シングルホルンの主管のオプションです。これにより、楽器の調性が E♭ になるので E♭ 調の譜面を読み替えずに、記譜通り演奏することができます。

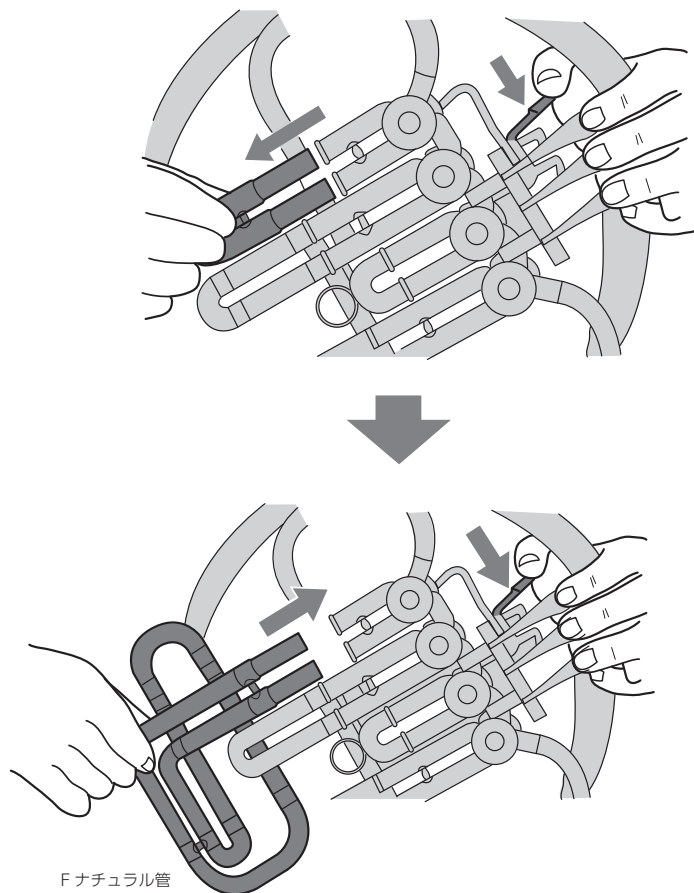
装着したままケースに収納することができます。



このとき、第1～第3 拔差管も少し抜きます。

**● F ナチュラル管 (別売)**

B♭ シングルホルンの第4抜差管に装着するオプションで、F管の開放の音を演奏することができます。記譜のド (実音 F) やソ (実音 C) の中低音での音抜けが向上し、音程も安定します。装着したままケースに収納することができます。



# 故障かな？と思ったら

## 音抜け、音程が悪くなった。

- 管内に汚れが付着している。  
→ 「楽器のお手入れ」に従い、管内を洗浄してください。
- ウォーターキーのコルクが欠けて、そこから息が漏れている。  
→ お買い上げ店でコルクを交換してください。
- マウスピースがガタつき、その部分から息が漏れている。
- 管に大きなへこみがあり、管の継ぎ目から息が漏れている。
- 管の中に異物がある。
- ロータリーとバルブケーシングの穴が合っていない。  
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

## ロータリーの動きが悪くなった。

- ひもがゆるんでいる。
- バルブケーシングとロータリーの間に汚れが付着している。
- バルブケーシングが変形している。
- ロータリーバルブを分解後、組み立てた。  
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

## 拔差管が抜けない。動きが悪い。

- 拔差管の外管と中管の間に、汚れや砂ぼこりが入って傷が付いた。  
→ 汚れを拭き取り、拔差管にスライドグリスを塗ってください。
- 楽器を落したりぶつけたりして拔差管がへこんだ。掃除のときに曲がった。  
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

## ネジが固くて外れない。

- ネジがさびてしまった。
- ネジの部分をつぶつけて変形させた。  
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

## マウスピースが抜けない。

- マウスピースを楽器に付けたまま落としたり、ぶつけたりした。強くねじってはめ込んだ。
- マウスピースを楽器につけたまま、長期間放置した。  
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。

## 吹いていると変な音がする。

- ハンダが外れている。
- 管内に異物が入っている。  
→ お買い上げ店、またはご相談窓口にご相談ください。



# お手入れ用品とアクセサリー

素敵なミュージックライフのために、ヤマハでは、いろいろなアクセサリーを取り扱っています。ここではホルンに関するものをご紹介します。ぜひ、ご活用ください。

品名	特徴・使用方法
ブラスソープ	管体の内面やマウスピース内面のクリーニングに最適です。
メタルポリッシュ	素材材質のままの仕上げや、ニッケルメッキ仕上げに使用します。
ラッカーポリッシュ	ラッカー仕上げ専用のポリッシュで、楽器表面の汚れを取り除き、艶のある光沢を生みだします。
シルバーポリッシュ	銀あるいは銀メッキ仕上げの楽器表面の変色や汚れを取るときに使用します。
ポリシングガーゼ	楽器表面や内面のクリーニングに最適です。
ラッカークロス	ラッカー塗装専用のクロスで、ツヤを出したり汚れをつきにくくする効果が得られます。
ポリシングクロス	楽器表面の艶出しに適した、軟らかくきめ細かいクロスです。
シルバークロス	銀や銀メッキの楽器表面の変色や汚れを取り、きめ細かい美しい光沢をもたらします。
マウスピーススワブ	吸水性抜群のマイクロファイバーにより、マウスピース内にたまった水分を取り除きます。
クリーニングスワブ	吸水性抜群のマイクロファイバーにより、管内にたまった水分を取り除きます。
マウスピースブラシ	ブラスソープ水溶液に浸し、マウスピース管内をクリーニングします。
スライドグリス	抜差管の気密を保ち、錆や摩耗を防ぎます。
レバーオイル	レバーの動きをスムーズにし、ノイズの発生を防ぎ、パネ軸部分の錆、摩耗を防ぎます。
ロータースピンドルオイル	ロータリーの軸の動きをスムーズにし、ノイズの発生、錆、摩耗を防ぎます。
ローターオイル	ロータリーの動きをスムーズにします。
クリーニングロッド	ガーゼを巻いたクリーニングロッドで管内の汚れを取り除きます。
フレキシブルクリーナー	自由自在に曲がりますので、管内部分の内面のクリーニングに最適です。

お手入れ用品は、各々の用途目的に添って正しくお使いください。



# フィンガリングチャート / Fingering Chart / Griffabelle / Tablature /

F シングルホルン

F Single Horn

F-Einfachhorn

Cor simple en Fa

Trompa en Fa sencilla

Trompa simples em Fá

F 单排圆号

Одиная валторна F

F 싱글 호른

F 單調性法國號

## A



B $\flat$  シングルホルン

B $\flat$  Single Horn

B-Einfachhorn

Cor simple en Si $\flat$

Trompa en Si $\flat$  sencilla

Trompa simples em Si bemol

降 B 单排圆号

Одиная валторна B $\flat$

B $\flat$  싱글 호른

降 B 單調性法國號

## B



in F

●: 押さえる / Close / Geschlossen / Fermé / Cerrado / Fechado / 按下 / Закрыт / 닫기 / 按下  
○: 放す / Open / Offen / Ouvert / Abierto / Aberto / 放开 / Открыт / 열기 / 放开

		Bass Clef									
		F	F $\sharp$	F $\flat$	F	F $\sharp$	F $\flat$	F	F $\sharp$	F $\flat$	F
A	3	○							●	●	●
	2	○							●	○	●
	1	○							●	●	○
B	4	○	○	○ ○	○	○	○				
	3	●	●	○ ●	○	○	○				
	2	○	●	● ○	○	●	○				
C	1	●	○	● ○	●	○	○				
	4	○ ●	●	● ●	●	●	●	○	○	○	
	3	○ ●	●	○ ●	○	○	○	●	●	●	
	2	○ ○	●	● ○	○	●	○	●	○	●	
	1	○ ●	○	● ○	●	○	○	●	●	○	

# Tabla de digitaciones / Tabela de digitação / 指法表 / Аппликатура / 운지법 / 指法表

F/B♭ **ダブルホルン**

F/B♭ **Double Horn**

F/B-Doppelhorn

Cor double en Fa/Si♭

Trompa doble en Fa/Si♭

Trompa dupla em Fá/Si bemol

F/ 降 B 双排圆号

Двойная валторна F/B♭

F/B♭ **더블 호른**

F/ 降 B 雙調性法國號

**C**



ダブルホルンの第4レバーは、F管とB♭管の切り替えに使用します。工場出荷時は、第4レバーを押すと、F管からB♭管に切り替わるようにセットされています。

The 4th lever on full double horns is used to switch between the F and B♭ sides of the horn. When shipped from the factory, this valve is set so that the horn changes from the F side to the B♭ side when the 4th lever is pressed.

Der vierte Hebel von echten Doppelhörnern dient zum Umschalten zwischen der F- und B-Seite des Horns. Bei der Auslieferung des Instruments ist dieses Ventil so eingerichtet, dass das Horn beim Betätigen des Hebels von der F-Seite zur B-Seite wechselt.

La 4ème palette des cors doubles sert à faire passer l'instrument de Fa en Si♭. Par défaut, elle est configurée de telle sorte que le cor joue en Fa lorsqu'elle n'est pas enfoncée et qu'il joue en Si♭ lorsqu'elle est enfoncée.

La cuarta espátula de las trompas dobles completas se emplea para cambiar entre los lados de Fa y Si♭ de la trompa. Cuando la trompa sale de fábrica, este cilindro está ajustado para que la trompa cambie del lado de F al de B♭ cuando se presiona la cuarta espátula.

A quarta chave da trompa dupla é usada para alternar entre os lados Fá e Si da trompa. Quando sai da fábrica, está chave esta ajustada para o lado Fá, ativando o lado si quando a quarta chave é acionada.

双管圆号的第四连杆用于 F 调与降 B 调之间的转换。出厂设置为：按下第四连杆时，圆号从原来的 F 调改发降 B 调。

4-я клавиша на двойных валторнах используется для переключения между строями F и B♭. При поставке с завода клапан настроен таким образом, что переключение между F и B♭ осуществляется нажатием 4-й клавиши.

플 더블 호른의 4th 레버는 호른의 F 및 B♭ 사이드 간의 전환을 위해 사용됩니다. 공장 출고 시, 본 밸브는 4th 레버를 누를 경우 F 사이드에서 B♭ 사이드로 바뀌도록 설정된 상태로 출고됩니다.

標準雙調性法國號的第4連桿用於切換F調和降B調。出廠設置為：按下第4連桿時，法國號會從F調變成降B調。

	F	F♯	G	G♯	A	A♯	B	B♭	C	C♯
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



# フィンガリングチャート / Fingering Chart / Grifftabelle / Tablature /

A	3	○	●	○ ●	○	○	○	○	○	○
	2	○	●	● ○	○	●	○	●	○	●
	1	○	○	● ○	●	○	○	●	●	○
B	4	● ○	○	○ ○	○	○	○	○	○ ○	○
	3	● ●	●	○ ●	○	○	○	●	○ ●	○
	2	● ○	●	● ○	○	●	○	●	● ○	○
1	○ ●	○	● ○	●	○	○	○	○	● ○	●
C	4	○	○ ●	○ ●	○ ●	○ ●	○ ●	○ ●	○ ●	○ ●
	3	○	● ●	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ●	○ ○	○ ○
	2	○	● ●	● ●	○ ○	● ●	○ ○	● ●	○ ○	● ○
	1	○	○ ○	● ●	● ●	○ ○	○ ○	○ ○	● ○	● ●

A

A	3	○	○ ○	○	○	○	● ○	○ ○	○ ○	○ ○
	2	●	○ ●	○	●	○	● ○	● ●	○ ○	● ○
	1	○	○ ●	●	○	○	○ ●	● ○	● ○	○ ○
B	4	○	○	○	○	○	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○
	3	○	○	○	○	○	● ○	○ ● ○	○	○ ○
	2	○	●	○	●	○	● ●	○ ○ ○	○	● ○
1	●	○	○	○	○	○ ○	● ○ ○	●	○ ○	
C	4	●	●	●	●	●	● ●	● ● ●	●	● ●
	3	○	○	○	○	○	● ○	○ ● ○	○	○ ○
	2	○	●	○	●	○	● ●	● ○ ○	○	● ○
	1	●	○	○	○	○	○ ○	● ○ ○	●	○ ○

● : 押さえる / Close / Geschlossen / Fermé / Cerrado / Fechado / 按下 / Закрыт / 닫기 / 按下  
 ○ : 放す / Open / Offen / Ouvert / Abierto / Aberto / 放开 / Открыт / 열기 / 放开





**ヤマハ株式会社**

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

© 2013 Yamaha Corporation  
Published 09/2023 発行 IPCC-A0

VGS2800